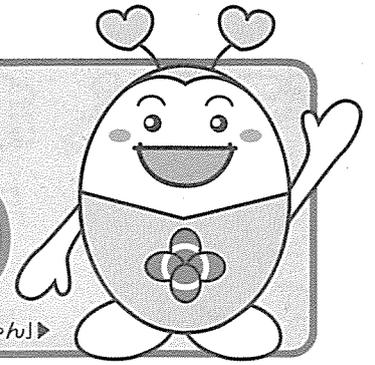


第63号 平成29年7月発行

ボランティアだより

大分市社会福祉協議会マスコットキャラクター 愛称「ふくしのピロロちゃん」▶



ボランティア 小さな支え合いが 大きな絆

平成29年度 大分市ボランティア連絡協議会 総会

日時 平成29年5月19日
会場 大分市ホルトホール大分
議事 平成28年度事業報告・決算報告
平成29年度事業計画・予算案



個々が繋がって大きな力へ、大きな輪へ！ 大分市ボランティア連絡協議会会長 幸 紀人

総会では多数の会員にご参加いただき、今年度の取組みを承認いただきました。この協議会では、日頃はそれぞれのボランティア活動をしている会員の皆さんが、年3回の自主研修や、市社協・県社協事業などへの参加を通して、お互いに研鑽と交流を深めています。

今日の私たちの暮らしの中で、支援を必要とする生活課題がますます顕著になり、さらに、身近に大規模災害も心配される中、ボランティアに寄せられる期待はますます大きくなっています。多くの皆様のご参加によりボランティアの輪をさらに大きく広げていきましょう。

講演 『災害時のボランティア活動』

大分市社協地域福祉課 松村 匡貢

～直接支える！地域で支える！ともに支える！～

昨年度の総会で衣笠一茂大分大学教授から、「ボランティア活動は、支援を必要とする人たちの生活に寄り添うことが大切である。」との講演をいただきました。災害時の支援活動には「避難行動」「避難生活」「生活復興」の3つの段階があり、特に災害ボランティアセンターが設置され、「生活復興」に向けた支援が始まる段階では、「直接支える」（自宅復旧、避難所支援など）、「地域で支える」（声かけ、寄り添い）、「ともに支える」（災ボラセンターの運営補助など）といったボランティア活動が求められ、それぞれの場面で被災者に寄り添ったボランティアが大きな役割を果たします。

そのためには、多くの方々のご協力が必要です。今年度も災害ボランティアに関する研修や訓練などを進めてまいりますので、ご参加、ご登録をお待ちしています。

災害時支援体制整備事業の取組み

H28災害ボランティア養成講座の開催
・3回シリーズ
・延べ380名参加

避難行動要支援者対策事業との連携
・ふれあい活動（声かけ）
・研修会等の開催

大分市災害ボランティア登録制度の充実

平成28年12月現在
66名登録者

平成29年6月現在で
50名が新たに登録されました！

大分市災害ボランティア登録募集 日頃のふれあいでも災害にも強いまちづくり

災害ボランティア登録制度は、災害ボランティアとしてご協力いただける市民の方に事前登録をしてもらい、研修や訓練などを通じて災害時のボランティア活動を担ってもらうものです。皆さまの登録をお待ちしています。 **お問合せ先** 大分市ボランティアセンター

「そうだ、ボランティアをしたい」と思った方へ

＝平成29年度の事業の紹介＝

ボランティアセンターではこんなことをしています

相談

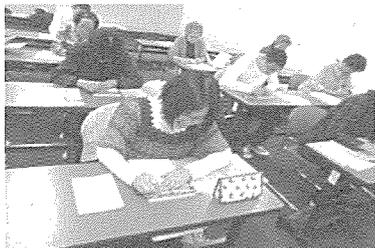
ボランティア活動をしたい方や、ボランティアに来てもらいたい方や施設などからの相談を受け付け、活動紹介や斡旋を行います。

市民啓発

広報誌「ボランティアだより」やホームページで、ボランティアに関する情報を提供しています。

講座・体験

点訳ボランティア養成講座(4月～3月)、朗読ボランティア養成講座(9月～1月)を開設しています。始めての方には、施設でのボランティア体験活動も実施しています。



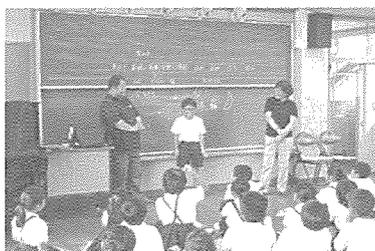
点訳ボランティア養成講座



施設ボランティア

福祉教育

市内小中学校で福祉学習講座を実施し、車いす体験や盲導犬とのふれあいなどを通して福祉を学びます。



福祉学習講座
手話



災害ボランティア養成講座

災害支援

災害ボランティアの登録・育成、災害ボランティアセンターの設置・運営、ネットワークづくりを推進しています。

その他

ボランティアに関する登録・活動保険・助成金、車いす貸出事業、使用切手・書き損じはがきなどの受付など

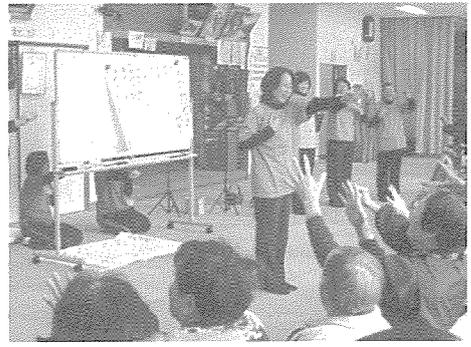
「そうだ、ボランティアをしたい」
の気持ちを、行動へ!

ボランティアグループの活動紹介

オカリナ 「グラッチェ」

旧大分社会保険センターオカリナ教室で学んだ有志11名で結成された「グラッチェ」は10年を経過した現在8名で活動しています。主に高齢者福祉施設や地域のふれあいサロン等の訪問演奏です。内容はまず2曲程聴いていただき、童謡唱歌や懐かしのメロディーをオカリナに合わせて歌っていただきます。その間には体操等も取り入れ交流しています。

昨年6月倉敷で開催されたオカリナフェスティバルに出場し、9月には熊本地震後第1回のがんばろう熊本復興支援イ



ベントにも参加し、精一杯演奏して来ました。今年も第2回熊本「オカリナッセ」に出場する予定です。

公民館で週2回の練習に励んでいます。私たち仲間も高齢化してきましたが、オカリナの音色を聴いて下さった方から、「楽しかった」「感動した」のお言葉を励みに、これからも続けていきますので、よろしくお願いします。

代表 植木 裕子

大分トリニータボランティアの会

私たちは大分銀行ドームで開催される大分トリニータのホームゲームの運営のお手伝いをしています。試合当日はキックオフの3時間前に集合し、各自担当セクションごとに分かれて活動しています。活動場所は場内案内、チケットもぎり、会場の設営、座席のご案内、マッチディプログラム・スポンサーからの配布物の配布、イベントの補助、報道関係者やチーム関係者他来賓の受付、場内美化他全部で10のセクションがあります。その他に試合終了後の後片付けや座席の掃除を行うなど多岐にわたり活動しています。



また、ホームゲームの開催が無い時などボランティア会員同士の交流を深めるために、各種レクリエーション活動も行っています。

特別な技術や資格は必要ありません。「トリニータを応援したい!」、「新しいことにチャレンジしたい!」、「ボランティアに興味がある」そんなみなさんの参加をお待ちしています。一緒にトリニータを支えましょう!

代表 佐藤 光史

朗読ボランティア成果発表会

朗読ボランティアネットワークの発表会が6月13日（火）に県立図書館（視聴覚ホール）で開催され、福祉施設や病院などでボランティア活動をしている12グループ・約80人が日頃の練習の成果を披露しました。人形劇や手作りの紙芝居、場面の情景をスクリーンに映し出すなどの工夫を凝らした発表がなされ、聴衆からは大きな拍手が送られました。

朗読ボランティアネットワークは平成7年から始まった「朗読ボランティア養成講座」の修了生らが結成したもので、元NHKアナウンサー飯塚政利さんを講師に迎え、毎月1回相互の交流や研修を行っています。



点訳ボランティア養成講座が始まりました

第37回平成29年度点訳ボランティア養成講座の開講式が、10名の受講生を迎え、4月13日（木）にホルトホール大分4階ボランティアルームで行われました。

この講座は、障がい者福祉に関心のある方を対象に点訳ボランティアを養成し、視覚障がい者の福祉の増進を図る目的で開催しているものです。この日、木村幸二先生の指導のもとでオリエンテーションを行い、講座がスタートしました。

受講生は、今後45回の講座を受講し、終了時には、その成果として受講生全員で1冊の点訳本を完成することになっています。



ボランティア活動保険に関するQ&A

Q1

私たちのボランティアグループでは、全員ボランティア活動保険に加入しています。年度途中で新たにグループに加わったり、退会したりする人がありますが、この場合は、加入者名の変更（入れ替え）手続きをすればよいのでしょうか？

A1

加入者の入れ替えはできません。新しくグループに加わった人については、新たに加入手続きをしてください。また、補償期間の途中で退会した人について保険料の払戻はありません。

Q2

グループ加入で代表者印を持ってきていない時、代表者のサインを印の代わりとしていいですか？

A2

法人の場合は法人印が必須となりますが、グループや団体の場合はサイン（フルネームの署名）で結構です。また、代理の方が手続きに来た場合で、印鑑をお持ちでない場合は代理人名の署名で構いません。

Q3

加入カードを紛失してしまいました。再発行は可能でしょうか？

A3

再発行は可能です。加入手続きをした社協窓口にお申し出ください。被災地に行かれる場合は、携行することをお勧めします。

Q4

ボランティア活動中に事故が起きた場合は、どこに連絡すればいいのでしょうか？

A4

事故が起こったら、加入手続きをした社会福祉協議会に事故の報告をしてください。事故報告を受けた社協は、事故報告書を作成し、保険会社の事故対応窓口へFAXにて報告します。

ボランティアだより （発行元・お問い合わせ）

社会福祉法人 大分市社会福祉協議会 地域福祉課 大分市ボランティアセンター

〒870-0839 大分市金池南1丁目5番1号 ホルトホール大分4階

TEL : (097)547-7419 FAX:(097)547-9559 E-mail : volun@oita-syakyo.jp

開所日時：月～土曜日 9時～18時【ただし、第2・4月曜日（祝日の場合は翌日以降の平日）及び祝祭日、12月28日～1月3日は除く】